【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2006-282707(P2006-282707A)
【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)
【年通号数】公開・登録公報2006-041
【出願番号】特願2005-100981(P2005-100981)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　5/18　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　47/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　3/34　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　77/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　101/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　3/16　(2006.01)
Ｂ２９Ｋ　25/00　(2006.01)
Ｂ２９Ｌ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　5/18
Ｂ２９Ｃ　47/00
Ｃ０８Ｋ　3/34
Ｃ０８Ｌ　77/00
Ｃ０８Ｌ　101/00
Ｃ０９Ｋ　3/16　１０１Ｂ
Ｃ０９Ｋ　3/16　１０６Ｂ
Ｂ２９Ｋ　25:00
Ｂ２９Ｌ　7:00

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月14日(2008.3.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
熱可塑性樹脂（ａ）９０～５０重量％とポリアミドエラストマー（ｂ）１０～５０重量％を含む樹脂組成物からなり、該樹脂組成物１００重量部に対し、無機フィラー（ｃ）１５～５０重量部を含み、表面抵抗率が10^{8}～10^{10}、かつ体積抵抗率が10^{7}～10^{10}であることを特徴とする帯電防止用押出シートまたはフィルム。
【請求項２】
成分（ａ）が、ゴム強化スチレン系樹脂であることを特徴とする請求項１に記載の帯電防止用押出シートまたはフィルム。
【請求項３】
ポリアミドエラストマーが、ハードセグメントとしてのポリアミド鎖とソフトセグメントとしてのポリ（アルキレンオキシド）鎖からなることを特徴とする請求項１または２のいずれかに記載の帯電防止用押出シートまたはフィルム。
【請求項４】
成分（ｃ）が、タルクおよび／またはマイカであることを特徴とする請求項１～３のいず

れかに記載の押出シートまたはフィルム。
【請求項５】
請求項１に記載の樹脂組成物１００重量部に対し、炭素繊維１～１５重量部およびカーボンブラック０．０１～１重量部を配合してなる樹脂組成物から得られることを特徴とする請求項１～４のいずれかに記載の帯電防止用押出シートまたはフィルム。
【請求項６】
多層シートまたはフィルムの少なくも一面が、請求項１～５のいずれかに記載の帯電防止用押出シートまたはフィルムであることを特徴とする帯電防止用多層シートまたは多層フィルム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
本発明者は前記課題を解決するために、鋭意検討を行なった結果、特定の割合の組成物からなる押出シートまたはフィルムが、導電性に優れることを見出した。
すなわち、本発明は、
１．熱可塑性樹脂（ａ）９０～５０重量％とポリアミドエラストマー（ｂ）１０～５０重量％を含む樹脂組成物からなり、該樹脂組成物１００重量部に対し、無機フィラー（ｃ）１５～５０重量部を含み、表面抵抗率が10^{8}～10^{10}、かつ体積抵抗率が10^{7}～10^{10}であることを特徴とする帯電防止用押出シートまたはフィルム、
２．成分（ａ）が、ゴム強化スチレン系樹脂であることを特徴とする上記１に記載の帯電防止用押出シートまたはフィルム、
３．ポリアミドエラストマーが、ハードセグメントとしてのポリアミド鎖とソフトセグメントとしてのポリ（アルキレンオキシド）鎖からなることを特徴とする上記１または２のいずれかに記載の帯電防止用押出シートまたはフィルム、
４．成分（ｃ）が、タルクおよび／またはマイカであることを特徴とする上記１～３のいずれかに記載の押出シートまたはフィルム、
５．上記１に記載の樹脂組成物１００重量部に対し、炭素繊維１～１５重量部およびカーボンブラック０．０１～１重量部を配合してなる樹脂組成物から得られることを特徴とする上記１～４のいずれかに記載の帯電防止用押出シートまたはフィルム、
６．多層シートまたはフィルムの少なくも一面が、上記１～５のいずれかに記載の帯電防止用押出シートまたはフィルムであることを特徴とする帯電防止用多層シートまたは多層フィルム、
である。